

(様式3)

事業所名 愛の家グループホーム新潟鳥屋野

作成日: 平成 24 年 2 月 1 日

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 ご家族とのやり取りの記録がないので、重度化支援をした場合、記録に残す。	ご利用者の状態が変わった場合、必要に応じてご家族と今後のことについて話し合い、書面で残していく。	ご家族からの要望やホームからの方針を照らし合わせた上での話し合いの様子を記録していく。 状態が変化した時点で、その都度その方にできる最大の支援を説明してご理解を頂くよう取り組んでいく。	12ヶ月
2	36	ひとり一人の尊重とプライバシーの確保 写真掲載が口頭のみ確認のため、同意書をつくり書面で確認する。 (家族向け、地域向け等に分ける)	入居契約時にご利用者、ご家族に確認を取っていく。また同意書を作成して、書面で残していく。	契約の際、各事項の確認を行って、現在ある会社独自の書面で残していく。また今後、会社として統一した専用の書式を検討していく。	6ヶ月
3	45	入浴を楽しむことができる支援 観察記録が不十分であり、拒否の場合でも記録を残す。 入浴のチェックがなかったり、記録と一致していなかったりする。ユニット記録の統一を行う。	記載を細かく行い、ホーム全体で統一した記録にしていく。	1ヶ月の入浴表を作成して、各自の入浴状況が分かるようにする。 入浴ができない場合の支援も統一した記載方法にして、より細かく状況が分かるよう記録していく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月